次回は、R8年11月10日火曜日の発行です。

週間漁海況情報　2026年第42号

令和8年11月4日発行

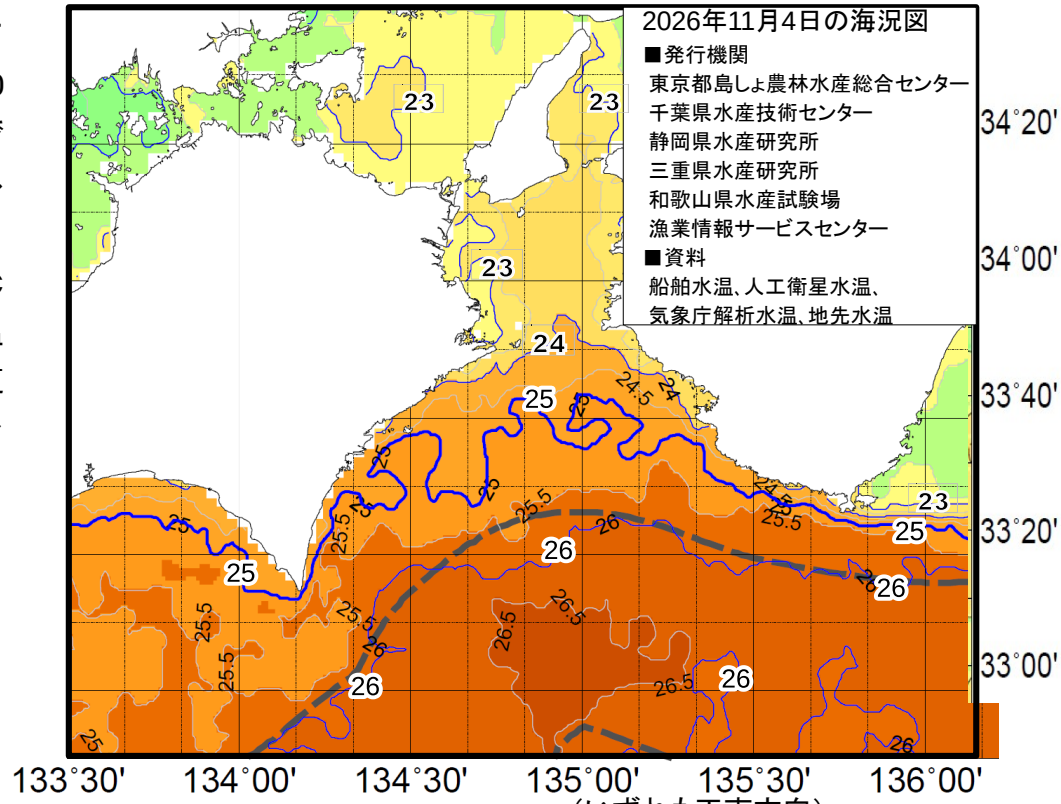
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖30マイル付近、潮岬沖20マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は25～27℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で22～23、紀伊水道で22～23、海部沿岸で23～25℃台となっている。



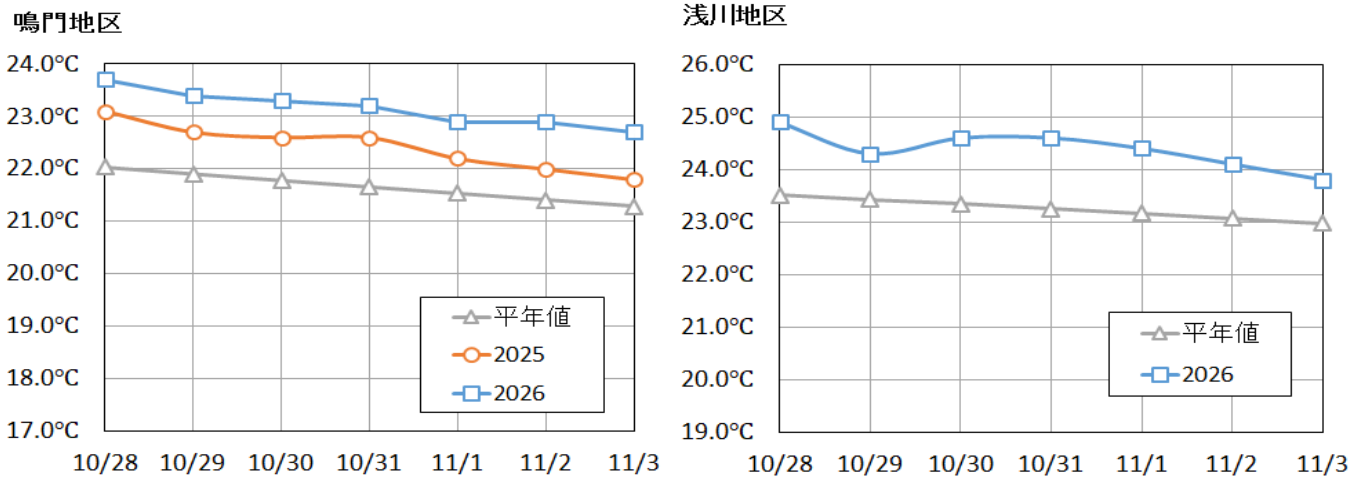
（いずれも正南方向）

※黒潮の離接岸の表現
室戸岬沖　接岸：～25NM　やや離岸：25～45NM　離岸：45～65NM　著しく離岸：65NM～
潮岬沖　　接岸：～26NM　やや離岸：26～56NM　離岸：56～86NM　著しく離岸：86NM～
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温（10月28日～11月3日）

鳴門地区の水温は、23.7～22.7℃で「高め」から「やや高め」で推移。浅川地区は、24.9～23.8℃で「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、0.9～1.5℃だった。



※水温の高低　平年並み：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃ 以上
※ 平　年　値　1984年～2022年（鳴門）、2018年～2022年（浅川）の平滑平均値（いずれも日平均水温を使用）

3. 週間予報（11月4日～11月10日）

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。
地先水温は、鳴門、浅川地区とも「やや高め」で推移する見込み。

漁況（10月26日～11月1日）

１．紀伊水道（標本漁協：４）
船びき網では、シラスが減って6.8ﾄﾝ水揚げされた。
延縄では、サワラが減って大主体に2ﾄﾝ、あまだい類が増えて0.2ﾄﾝ水揚げされた。
底びき網では、クマエビが減って0.8ﾄﾝ、タチウオが大きく増えて0.7ﾄﾝ、
ハモが減って中主体に0.4ﾄﾝ、イボダイが大きく増えて0.3ﾄﾝ水揚げされた。
小型定置網では、カンパチが増えて大主体に1ﾄﾝ、
ブリがめじろ級主体に0.4ﾄﾝ水揚げされた。

２．海部沿岸（標本漁協：４）
釣りでは、キハダが大きく増えて0.9ﾄﾝ、サワラが大きく増えて大主体に0.4ﾄﾝ、
カマスサワラが大きく増えて0.2ﾄﾝ水揚げされた。
延縄では、アカムツが大きく増えて0.2ﾄﾝ水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数（のべ）	魚種	漁獲量 (kg)	1日1隻あたり平均漁獲量	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	25	シラス	6,750	270		↘
	延縄	48	サワラ	1,989	41	大主体	↘
		24	あまだい類	218	9		↗
	底びき網	17	クマエビ	838	49		↘
		16	タチウオ	707	44		↗↗
		18	ハモ	363	20	中主体	↘
		18	イボダイ	295	16		↗↗
	小型定置網	13	カンパチ	1,024	79	大主体	↗
		10	ブリ	353	35	めじろ級主体	→
海部沿岸	釣り	9	キハダ	850	94		↗↗
		9	サワラ	404	45	大主体	↗↗
		7	カマスサワラ	210	30		↗↗
	延縄	10	アカムツ	215	21		↗↗

※ 前週比　200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘